



日本基督教団 梅ヶ丘教会会報

ぶどうの木

発行人 牧師 広田叔弘
企画編集 広報委員会
www.church.ne.jp/umegaoka/
2021年 7月25日発行

〒155-0033
東京都世田谷区代田 3-37-7
TEL: 03-3414-5772
FAX: 03-3414-5778

第218号 2021年 8月号



『今を生きよう』

牧師 広田叔弘

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。
わたしの助けはどこから来るのか。
わたしの助けは来る

天地を造られた主の時から。

詩二二編 1と2節

四度目の緊急事態宣言が発出されています。宣言が出ている間は、礼拝堂での礼拝と教会学校の活動を中止しています。共に集まることが出来ません。大きな忍耐の時が続いています。私たちはそれぞれ聖霊をいただいています。言葉を換えれば、キリストのピース(部分)をいただいているのです。部分が集まって全体を現します。主の日にキリスト者が集まって礼拝をささげるとき、見えざる主がお立ちになります。共に集まって、そこに現れるひとりの主と交わることが出来ないから、私たちは辛くなるのです。

七月一七日現在、東京都の六五歳以上の第一回目ワクチン接種者は七九・四二パーセントです(NHK特設サイト)新型コロナウイルス)。政府は七月末までに希望する高齢者への接種を終える目標を達成できる見通しであると述べています。以上を考えれば、油断はできませんが、感染症に対する対応も変化し

ていくことになると思います。安全を確保したうえで、私たちの信仰生活を守り、世に対する伝道の使命を果たしていく道を見つけていきたいと考えています。

詩二二編は「巡礼歌集」の中のひとつです。巡礼者は神殿の境内におります。これから帰路に着きます。このとき巡礼者は彼方に見える山々を仰ぎます。「越えていくことが出来るだろうか・・・。」険しい山々を避けて通ることはできません。そして彼は、心の声を聴くのです。「わたしの助けは来る。天地を造られた主の時から。」越えられるか、越えられないかは分からない。けれども、助けは来る。高くそびえ立つ山々はあってもそれを造つたのは主。主が、わたしを助けてくださる。

どうか、主があなたを助けて

足がよろめかないようにし

まどろむことなく見守ってくださいように。

(詩二二編 3節)

祭司が与える祝福の言葉を身に受けて、自分の道を歩み始めるのです。

試練の山々があります。私たちはその途中にいます。山を越える日を心に思い描いて今を生きましよう。苦しい今を真正面から受け止めて、主と共にしっかりと歩んで行きたい。この歩みの向こうに喜びがあります。共に成長を認め、主に感謝をささげる日が来ます。